



—第29号—

地域・だいがく連携通信 —神戸大学地域連携ニュース—

神戸大学地域連携推進本部

〒657-8501

神戸市灘区六甲台町1-1

TEL：078-803-5391

FAX：078-803-5389

E-mail：ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp



令和3年10月、地域連携推進本部に改組されました



▲奥村弘本部長

令和3年10月に、本学の地域連携の機能強化を目的として、従前の地域連携推進室は地域連携推進本部に改組されました。この改組に伴い地域連携担当の奥村弘理事・副学長が本部長に、地域連携推進室長の田中丸治哉農学研究科教授が副本部長に就任しました。

地域連携推進本部は、地域をフィールドとして、地域の課題解決に資する教育研究と、それを実践する活動に取り組んでいる教員や学生を支援し、大学の持つ「知」を地域社会に還元することを目指しています。

今後はボランティア支援を含めたより幅広い活動に積極的に取り組んでいきます。

本学の地域連携活動について、地域の皆様、関係者の皆様から今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲地域連携推進本部入口
(産官学連携本部5階)



神戸大学がサンテレビジョンと連携協定を締結



▲サインした協定書を持つ藤澤学長(左)とサンテレビ沼田社長(右)

本学は令和3年7月2日(金)株式会社サンテレビジョンと連携協定を締結しました。

この協定において、サンテレビと本学は、地域再生や防災・減災などにおいて連携・協力していくことを表明しました。

同日にサンテレビ本社内にて行われた締結式では、サンテレビの沼田伸彦社長と本学の藤澤正人学長を始め、10名の出席者が集まり、協定書にサインをするとともに、今後の両者の連携について意見交換を行いました。

本学がテレビ局と連携協定を締結するのは今回が初めてです。協定式後にはサンテレビのニュース番組に藤澤学長が生出演し、今回の連携協定を始め、コロナ禍における大学生の現状や地域接種、手術支援ロボットの開発など、本学の取り組みを披露しました。

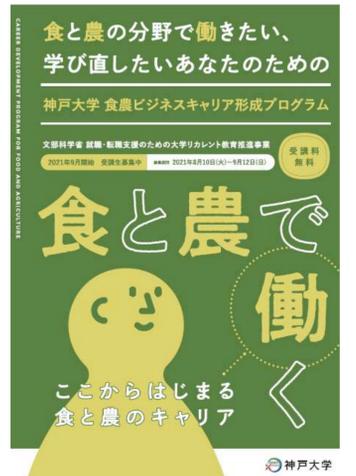


「食農ビジネスキャリア形成プログラム」の実施

文部科学省の令和2年度「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業（就職・転職支援のためのリカレント教育プログラムの開発・実施）」に、本学の申請した「食農ビジネスキャリア形成プログラム」が採択されました。

本事業は、非正規雇用労働者・失業者、希望する就職ができていない若者等の支援として、全国の大学等を中心とした連携体制において、即効性があり、かつ質の高いリカレントプログラムの発掘・開発を行い、オンラインと対面を組み合わせ集中的に提供する体制を整えることにより、全国のリカレント教育のニーズに応え、円滑な就職・転職を促すことを目的としました。本プログラムにおいては、本学地域連携推進本部を中心に学内外との連携を図りながら、プログラムの開発・実施をしました。

プログラムの成果として、修了後の就労状況と、受講生からの評価を一部ご紹介します。



■就労の状況

1) 就職・転職の状況（表の通り * 修了後は令和4年4月1日を想定）

- ・ 離職中・非正規雇用労働者5名が正規雇用労働者にキャリアシフト
- ・ うち、4名が食農関連のビジネスに従事
 - 2名（離職中の農業研修生と非正規雇用労働者）が就農
 - 離職中1名が外食企業に
 - 非正規雇用1名が食品メーカーに
- ・ 離職中（学生）1名が一般就職
- ・ その他、2名（離職中・非正規雇用労働者）が食農ビジネスでパート・アルバイトを開始

2) プログラムの達成状況

アウトプット

- ・ 開設するプログラム数：1
- ・ 応募者数：147
- ・ 総授業時数（含選択）：136時間（必修76時間+選択60時間）
- ・ 受講者数：30名（離職中11名、非正規雇用10名、正規雇用9名）



#	応募時の就労の状況	修了後の就労の状況
1	離職中	正規雇用労働者
2	離職中	非正規雇用労働者
3	離職中	離職中
4	離職中	離職中
5	離職中	離職
6	離職中（農業研修生）	正規雇用労働者
7	離職中（学生）	正規雇用労働者
8	離職中（主婦）	離職中（主婦）
9	離職中（主婦）	離職中（主婦）
10	離職中（主婦）	離職中（主婦）
11	離職中（主婦）	離職中（主婦）
12	非正規雇用労働者	正規雇用労働者
13	非正規雇用労働者	正規雇用労働者
14	非正規雇用労働者	非正規雇用労働者
15	非正規雇用労働者	非正規雇用労働者
16	非正規雇用労働者	非正規雇用労働者
17	非正規雇用労働者	非正規雇用労働者
18	非正規雇用労働者	非正規雇用労働者
19	非正規雇用労働者	非正規雇用労働者
20	非正規雇用労働者	非正規雇用労働者
21	非正規雇用労働者	非正規雇用労働者
22	正規雇用労働者	正規雇用労働者
23	正規雇用労働者	正規雇用労働者
24	正規雇用労働者	正規雇用労働者
25	正規雇用労働者	正規雇用労働者
26	正規雇用労働者	正規雇用労働者
27	正規雇用労働者	正規雇用労働者
28	正規雇用労働者	正規雇用労働者
29	正規雇用労働者	正規雇用労働者
30	正規雇用労働者	正規雇用労働者

▲表 受講生の応募時と修了後の就労状況

アウトカム

- ・ 就職率※1：25%（5名/離職中+非正規雇用20名） * 離職中の方1名が離脱
- ・ 就職・就業率※2：79.3%（23名/修了者29名）
- ・ 新規就職・転職者数：5名（うち新規就農者2名）

その他、2名が食農ビジネスでのパート・アルバイトを開始



※1 就職率は、修了者のうち非正規雇用労働者及び失業者等の職を持たない者に対する、プログラム修了後3か月の間に就職した者（非正規雇用労働者が正規雇用労働者となった場合、起業した場合を含む。）の割合とする。

※2 就職・就業率は、修了者数（就職活動等を行う正規学生等を除く。）に対する、プログラム修了後3か月の間に就職した者（非正規雇用労働者が正規雇用労働者となった場合、転職・起業（起業準備者を含む。）した場合も含む。）及び在職者の合計の割合とする。



■プログラムの評価（受講生アンケートより一部抜粋）

- プログラムを通して、どのような知識や能力が身についたと感じますか？
- ・食農ビジネスに関する知識：食・農といっても具体的にどのような職業があるのか未知な部分も多かったのが、多様な働き方・関わり方があることを知れた。
- ・日本の農業を俯瞰的に理解することができた。その上で私たちのような都市部の小規模農家のポジショニング（生き残り）の知恵を得ることができました。また、同じ志をもつ受講生から刺激をもらいモチベーションにつながったと思います。
- ・自分が農業を始める為には何が必要か、今後自分のキャリア（人生）にどのような道筋をつけるか、方法と決断力が身についた。
- ・農業だけでは、生計が難しい。ただ野菜を作れるだけでなく、マーケティング戦略を学び、人との繋がりの必要性を知ることができました。
- ・生産・流通の仕組み、農業の課題、先進的な農業技術など、手元に食品が届くまでのことを万遍なく学べた。
- ・マーケティング能力。実際に農園をやるので、個人店の成功例を学べたのは良かった。
- ・兵庫県の農業と農村の現状と基本的な知識、農作物の流通の仕組み、ブランディングの基礎的知識と重要性、働き方の多様性を学べ、これからのキャリアについて幅広い視点で考えることができた。



地域創成に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム連絡会の開催

2月16日に、「令和3年度地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム連絡会」を開催しました。

本会は、本学が申請校として採択された文部科学省COC+事業（平成27～31年度）を契機として組織された「地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」の連絡会であり、地域の経済界、自治体、大学が一体となって活動していくための意見交換の場です。参加した各大学より地域連携活動のご紹介をいただき、経済界・自治体・大学で意見交換を行い、あらゆる視点から地域連携を考え、今後の活動の一助とするものです。

今回は、神戸市看護大学・園田学園女子大学からも報告をいただきました。神戸大学の発表では、地域連携推進本部の組織紹介や今年度に採択されたりカレント事業の紹介とともに、学内の教員・学生の地域活動として、「有野台団地等 再生・活用プロジェクト」について工学研究科の栗山尚子先生が、「プロジェクト福良」について工学部学生が報告しました。

教員・学生の地域活動の詳細については地域連携推進本部のウェブサイトと活動報告書をご覧ください。

討論では、「コロナ禍での地域連携～リカレントプログラムの経験から～」をテーマとして、コロナにより地域に入りにくい中で、地域の方々とどのようにつながりを維持することが出来たのかという点について、オンライン・オフラインの双方の視点から活発な議論が行われました。

最後に兵庫県立大学理事兼副学長の畑豊先生より、各大学の、コロナ禍ならではの地域創成や学生・教員の新たな活動、教育・研究・社会貢献について総評があり、学生への気付きをあたえる場としての本プラットフォームの重要性を強調され、本会は終了しました。



令和3年度 地域連携公募事業

地域連携事業（教職員対象）



部局	事業名
産官学連携本部 オープンイノベーション推進部門・医学研究科	青少年のネット・ゲーム依存対策のための神戸モデル構想
経済学研究科	神戸市パイロット事業とESD演習
医学研究科	コロナ禍における呼吸器疾患ネットワークの構築と運用
医学研究科	NPO法人兵庫骨を守る会と共に行うWebを利用した骨粗しょう症教室
医学研究科	兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医療系人材育成促進事業
国際文化学研究科	「空襲・戦災資料」をいかにアーカイブし、市民に還元するか、をめぐる試み
工学研究科	小学校におけるICTを活用した新たな避難訓練方式の実証的検証
工学研究科	有野台団地等 再生・活用プロジェクト

学生アクションプラン（学生対象）

団体名	事業名
プロジェクト福良	プロジェクト福良
神戸大学保全生態学研究会	市民と天然記念物をつなぐイベント・観察会の実施

神戸大学・灘区まちづくりチャレンジ事業助成

団体	活動内容
まちプロジェクト実行委員会	まちプロジェクト'21
人間発達環境学研究科	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト
灘地域活動センター（N.A.C.）	灘区内の災害復興住宅の集会所におけるふれあい喫茶の運営、戸別訪問活動
天文研究会	なだ星まつり
障害のある青年の生涯学習支援会	女子会+

活動報告（令和3年4月～令和4年3月）

R3.4.21	大学	定例会議開催（6/30、7/28、8/26、9/14、10/15、11/18、12/16、1/20、2/24、3/17）
R3.5.13	大学	第1回地域連携推進室運営委員会（9/14、3/16）
R3.6.11	大学	神戸市「大学連携実務担当者会議」への参加（オンライン、10/29、3/11）
R3.6.14	大学	ひょうご神戸学（第2Q）開講（オンライン）
R3.6.17	大学	地域社会形成基礎論（第2Q）開講（オンライン）
R3.7.2	大学	神戸大学とサンテレビジョンとが連携協定締結
R3.7.30	大学	食農ビジネスキャリア形成プログラム事業実施委員会（9/21、1/6、3/1はオンライン）
R3.9.21	大学	神戸市「市長と学長との懇談会」への参加
R3.9.25	大学	食農ビジネスキャリア形成プログラム開校式
R3.10.1	大学	地域連携推進室が地域連携推進本部に改組
R3.10.4	大学	ひょうご神戸学（第3Q）開講（オンライン）
R3.10.7	大学	地域社会形成基礎論（第3Q）開講（オンライン）
R3.11.5	大学	中津市歴史博物館協議会への参加
R3.11.8	大学	大学コンソーシアムひょうご神戸リカレントフォーラムへの参加（オンライン）
R3.11.24	大学	神戸のつどいへ出展（オンライン：アバターを活用した3D仮想空間）
R3.12.24	大学	丹波篠山市・神戸大学 連携推進協議会（オンライン）
R4.1.29	人文	第20回歴史文化をめぐる地域連携協議会（オンライン）
R4.2.5	大学	文化・歴史領域シンポジウム「地域歴史遺産としての地場野菜－尼いもの「価値」－」への参加
R4.2.16	大学	地域創成に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム連絡会（オンライン）
R4.2.20	大学	灘区大学と連携したまちづくりチャレンジ事業助成報告会&交流会への参加（オンライン）
R4.2.23	大学	食農ビジネスキャリア形成プログラム修了式
R4.2.26	農学	丹波篠山研究発表会（対面（定員20名）+オンライン）
R4.3.3	大学	食農ビジネスキャリア形成プログラム外部評価委員会
R4.3.18	大学	大学コンソーシアムひょうご神戸リカレントフォーラムへの参加（オンライン）
R4.3.19	保健	保健学研究科地域連携センター活動報告会（オンライン）